

NPO法人社会還元センター グループわ 会報

情報ギャラリー

第31号

情報ギャラリー第31号

発行日 2005年7月28日

編集 グループわ 広報部

発行者 納利春

発行元 NPO法人社会還元センター
グループわ

TEL(078)743-8101 FAX(078)743-3830

Eメール group_wa@wa-net.jp

ホームページ http://www.wa-net.jp

小学生に勉強を教えて見ませんか

子どもたちの学習支援活動がスタート

理事 中沢 保夫

お父さん、お母さんに代わって小学生たちが苦手とする算数などを教えてみませんか—

NPO法人グループわが本年度活動方針で、初めての試みとして取り上げた「子どもたちの学習支援活動」が大きな反響を起こそうとしています。神戸市小学校々長会でも話題となり、すでに12校から申し込みがあり、今秋2学期から本格的な支援活動がスタートします。

活動をはじめる動機

わが国の未来を託す子どもたちの教育について、最近よく論議されるようになりました。そんな中で昨年度、神戸市シルバーカレッジでは学生による地域活動の一環として、西区の櫛谷小学校で算数などの授業補助をはじめたのです。おじいちゃん、おばあちゃん先生の教えに、子どもたちも苦手な算数に興味を持ちはじめ、メキメキと計算力も付いてきました。

グループわの取り組み

このことがシルバーカレッジやグループわで話題となり、学生たちに呼びかけて、全市的な運動に広めようということになったのです。5月17日に開かれたグループわの総会で、本年度活動方針のひとつとして「子どもたちの学習支援活動」を発表しました。その後、シルバーカレッジの在校生に対するグループわの説明会でも、この支援活動への参加協力と呼びかけました。

市教委、校長会の反応

6月3日には神戸市教育委員会に趣旨説明をするともに、協力を要請しました。市当局として本年度は予算的な応援は出来ないが、大変よいことなので大いに期待しているとの回答でした。この日開かれた市内170小学校、養護学校4校の代表校長会や、6月6日の各区校長会の議題として取り上げられ、学習支援を受ける希望校を募ることを決めました。

その後、わずか1ヶ月足らずの間に派遣要請のあった学校は、灘区六甲小学校など12校にのぼっています。

各小学校現場の希望

各校の希望を聞いてみると、対象学年は1年から6年生までの全学年で、1校当たりの希望者は2~10名、補習教科は算数、国語など。学習指導だけでなく、校内での生活補助指導の要請もあります。放課後のクラブ活動の指導もあり、今後こうした要請校が増えることが予想されます。



櫛谷小学校で放課後、勉強を教える会員たち

す。グループわ事務局で希望校を訪問した結果、先生方は学習支援に大きな関心と期待をよせていて、出来れば継続して指導願いたいという声が出ています。

支援活動の指針

支援活動の内容として
学習の指導補助
・算数の少人数の指導
・総合的な学習の活動補助
・教科や総合的な学習のグ
ストティーチャー
・特別支援教育の補助
課外学習指導補助
・クラブ活動の指導補助
・図書館ボランティア（お
話の会）
・ふれあい行事等への参画
などです。

一方、グループわ事務局に申し込みのあった会員（シルバーカレッジ在校生を含む）は現在20名です。5月の総会以後、学習支援のボランティアを募集していますが、こんご希望校が増えることが予想されるので、希望者はどしどし申し出てほしい。教員資格の有無は問いません、同封の「子どもたちの学習支援活動」登録票に必要事項を書いてグループわ事務局へ郵送、またはFAXして下さい。

なお8月8日午前10時からKSC学習室1,2で「登録者の集い」を開催します。わ担当者より現況報告、意見交換、活動の方向付け等を話し合います。